

所 属	基盤整備部 農山村政策課		
担当(係)名	総合整備	内 線	3163
所 属	基盤整備部 農地整備課		
担当(係)名	農道整備・農業水 利・農地防災	内 線	3177,3178

(款)6農林水産業費	(項)4農地費	(目)(4)農村総合整備事業費
(明細書事業名) 公共事業		
(款)6農林水産業費	(項)4農地費	(目)(9)県営農道整備事業費
(明細書事業名) 公共事業 単独事業		
(款)6農林水産業費	(項)4農地費	(目)(10)県営圃場整備事業費
(明細書事業名) 公共事業 農村環境整備事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

9,910,851

2 当初予算(決定)額(千円)

12,280,938

(前年度14,043,756)

【財源内訳】

国 庫	県 債	一般財源	その他
5,339,689	3,293,000	1,811,299	1,836,950

3 事業概要

今後、農業が発展するためには、農家の生活が良好であることが必要です。農家が農業をやめ村を捨て人々が町へ移り住むならば、農村のコミュニティーが壊れるだけでなく都市の過密化がますます進行します。そのような流れを止めるには都市と比較して立ち後れている農村の生活環境を整え都市の人々にも住んでみたいと思われる素敵な村づくりをしなければなりません。そのためのメニューはたくさんあるのですが、主なものでは道路や公園の整備があります。

道路を整備すると米や野菜の運搬が楽になるだけでなく、町へ早く行けるので通勤にも大変便利です。町からも店や工場が進出し、村にも活気があふれることでしょう。

公園を造ると水と緑に恵まれた憩いの場に農家の人々が集まるだけでなく、過密となった都市の人々もやってくることでしょう。

4 施策の効果

次の事業を通じ、農業生産基盤と農村地域の環境整備を一体的に推進していきます。

- ・市町村が事業主体となり農業生産基盤と環境整備を一体的に行う事業の助成
団体営農村総合整備事業モデル事業、団体営集落環境整備事業
- ・県が事業主体となり農業生産基盤と環境整備を一体的に行う事業
県営中山間地域農村活性化総合整備事業、県営農村環境整備事業
県営農村活性化住環境整備事業
- ・市町村が事業主体となり農道を整備する事業の助成
県単独農業農村整備事業
- ・県が事業主体となり農道を整備する事業
県営農免農道整備事業、県営広域営農団地農道整備事業
県営一般農道整備事業
ふるさと農道緊急整備事業

5 要求の内容

予算要求額 9,910,851千円

- ・市町村が事業主体となり農業生産基盤と環境整備を一体的に行う事業の助成
440,521千円
- ・県が事業主体となり農業生産基盤と環境整備を一体的に行う事業
4,737,634千円
- ・県が事業主体となり農道を整備する事業
4,732,696千円

6 用語の解説

15ヶ月予算

経済情勢に配慮するため、14年度補正予算と15年度当初予算を一体的に編成する予算

7 決定内容

決定額 12,280,938

- ・市町村が事業主体となり農業生産基盤と環境整備を一体的に行う事業の助成
440,521千円
- ・県が事業主体となり農業生産基盤と環境整備を一体的に行う事業
4,725,264千円
- ・市町村が事業主体となり農道を整備する事業の助成
537,380千円
- ・県が事業主体となり農道を整備する事業
6,577,773千円

公共事業については、国の15ヶ月予算の考え方により個別事業の予算額を調整
県単独建設事業費枠(単枠)に係る事業については、県税収入等の状況を見極めた
上で措置する必要があることから、予算要求は行わず、予算案決定の最終段階で措置
した。